

# 2023 年度環境保全報告書

グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社  
神戸工場

## ①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

### ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

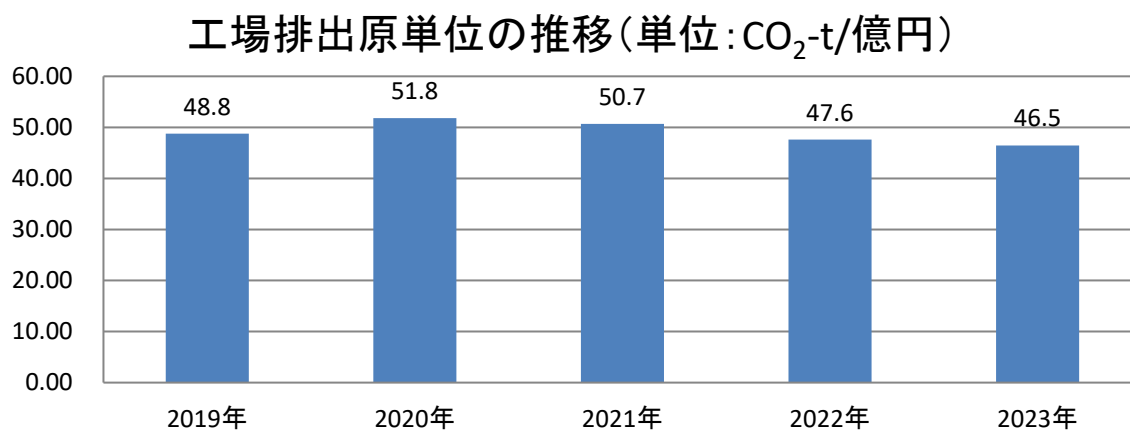
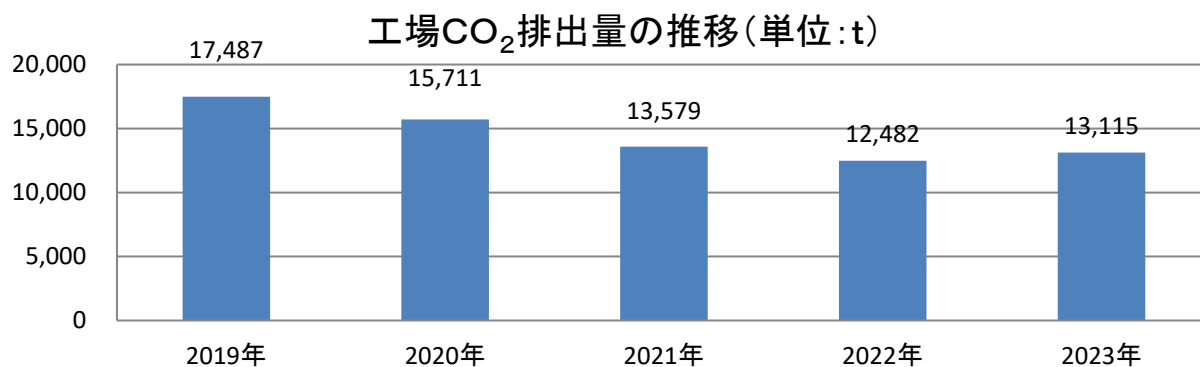
CO<sub>2</sub>について、電力の省エネルギー、生産ラインの安定化などを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。当社ではCO<sub>2</sub>削減、2023年度利計年間電力使用量+利計年間ガス使用量から算出したCO<sub>2</sub>排出予定量の1%削減を目標に取り組み、2023年度は目標を達成することが出来ました。

達成要因として工場全体で取組んだ省エネパトロール実施・改善対策を行った事が大きな成果に繋がったと考えます。

2024年度以降も継続して目標が達成できるよう新たな工夫を行っていきます。

### 工場CO<sub>2</sub>排出状況

項目		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
生産金額	(億円)	358.6	303.2	267.9	262.1	282.3
工場 CO <sub>2</sub> 排出量	電力購入(t-CO <sub>2</sub> )	9,764	6,910	5,686	4,466	5,802
	都市ガス(t-CO <sub>2</sub> )	7,723	8,801	7,892	8,016	7,313
	合計(t-CO <sub>2</sub> )	17,487	15,711	13,578	12,482	13,115
工場排出原単位(t-CO <sub>2</sub> /億円)		48.8	51.8	50.7	47.6	46.5



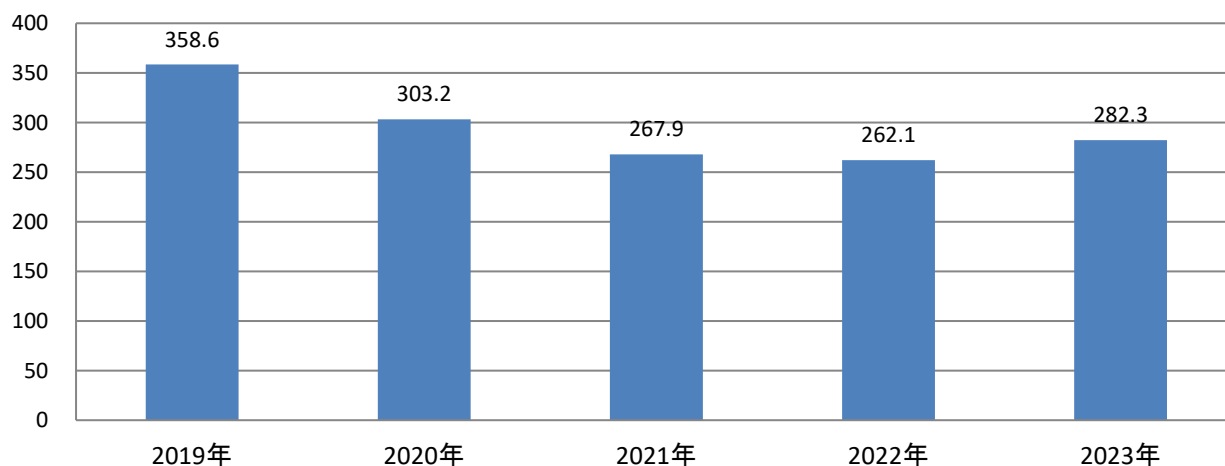
## イ. 省エネルギーの推進

ガス、電力、用水について、2023年度の総使用量は前年度から見て横ばいとなっておりますが、原単位で見ると全て減少しております。特に電気使用量に関しては工場全体による省エネ取組の推進・対策実施や高効率機器の導入による電力量削減が効果として現れました。今後も引き続き省エネ活動を推進してきます。

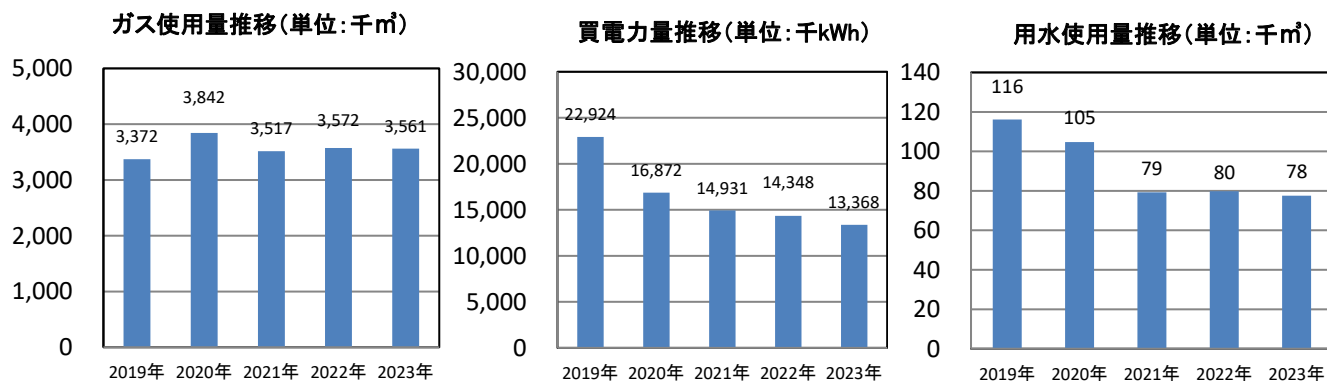
### ●エネルギー使用量・原単位

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
生産金額	(億円)	358.6	303.2	267.9	262.1	282.3
ガス	総量 (m <sup>3</sup> )	3,371,818	3,842,306	3,517,109	3,572,115	3,561,478
	原単位 (m <sup>3</sup> /億円)	9,402.9	12,672.6	13,127.3	13,626.7	12,616.2
電力	総量 (千kWh)	22,924	16,872	14,931	14,348	13,368
	原単位 (kWh/億円)	63,928.4	55,646.9	55,729.7	54,732.9	47,355.8
用水	総量 (m <sup>3</sup> )	116,123	104,726	79,225	79,783	77,519
	原単位 (m <sup>3</sup> /億円)	323.8	345.4	295.7	304.4	274.6

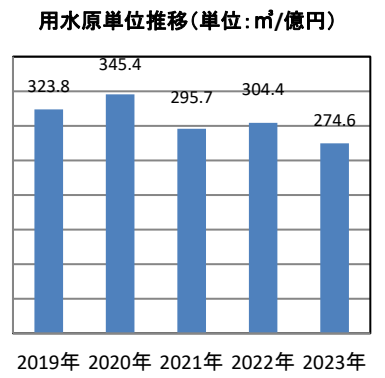
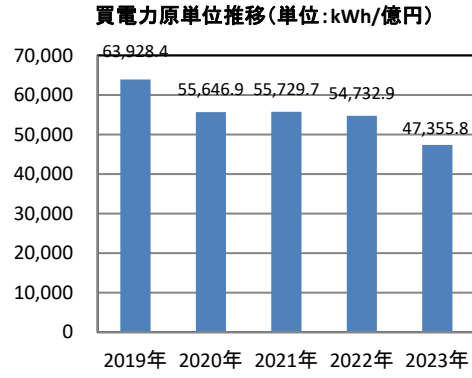
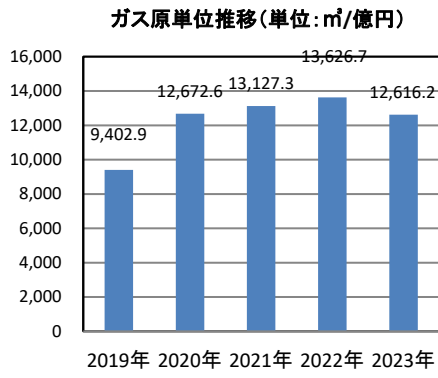
## 生産金額の推移(単位:億円)



## 使用量推移



## 原単位推移



②公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
防大 止気 対汚 策染	ばい煙の排出規制の遵守	窒素酸化物、ばいじん濃度ともに前年度と同程度である。規制値範囲内であり、問題無し。	◆排ガス処理施設の適切な維持管理に努めるとともに、「排ガス中のばい煙濃度等測定計画」により、目標値の遵守状況を確認した。
防 水 止 質 対 策 濁	公共用水域の環境保全	pH、BOD、ノルマルヘキサン、SS、全て神戸市規制値範囲内のため問題無し。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出水の汚濁状態測定計画」及び「排出水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の遵守状況を確認した。
騒 音 防 止 策	法令等の基準の遵守	敷地境界線に於ける騒音の指示値が法規制の基準内であることが確認できた。	「騒音規制法」「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」「神戸市民の環境を守る条例」の規制基準値の遵守状況を確認した。
悪 臭 防 止 策	法令等の基準の遵守	触媒槽の温度及び差圧、ダンパーの動作確認を実施し、異常がなかったことが確認できた。臭気測定を行い、基準値内であることを確認した。	燃焼等の脱臭装置の定期的な動作確認を行った。臭気測定を行い、基準値の順守状況を確認した。
産 業 廃 棄 物 対 策	法令等の規制を遵守	法令に定める産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守できた。	「電子マニフェスト」「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」により、遵守状況を確認した。
	廃棄物の発生抑制・再利用	産業廃棄物排出総量としては 2022 年度に比べ、2.1%減少した。	産業廃棄物量の削減及び原材料ロス削減に取り組んだ。2023 年度は、産廃再利用業者との新規取引は無し。

イ. 2023年度 窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

	測定項目	単位	規制値	測定結果	全測定回数	法令基準達成判定
ブ ン ①	ガス オ ー ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.20	0.005 未満	2回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	61/120	2回/年	○
ブ ン ②	ガス オ ー ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.20	0.005 未満	2回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	110/140	2回/年	○
ジ ン	ガス エ ン ダスト濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.05	0.005 未満	2回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	600	140/140	2回/年	○
ラ ー ボ イ	NO <sub>x</sub>	ppm	150	37	1回/年	○

ウ. 2023 年度 排水水の汚濁状態測定結果

排水口 1 カ所									
項目	管理 目標値	測定値		全 測定 回数	測 定 回 数	目 標 値 を 超 過 し た	目 標 達 成 判 定	法 令 基 準 達 成 判 定	
		最大 (pHの み 最少～最 大)	平 均						
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度 (pH)	5.8～8.2	6.0～6.9	6.6	12	0	○	○
	2	生物的酸素要求量 (BOD)	1,000mg/L 以下	770	467	12	0	○	○
	3	浮遊物物質 (SS)	2,000mg/L 以下	190	75	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質	100mg/L 以下	77	50	12	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱物油)	5 mg/L 以下	2 未満	2 未満	12	0	○	○

※ 鉱物油基準逸脱に関して排水管理報告書に内容記載済み  
 単位は pH を除き、mg/ℓ    ND : 定量下限値以下    ○ : 達成    × : 未達成

エ. 2023 年度 敷地境界線上の臭気測定計画

測定箇所	規制基準	測定値 (最小～最大)	測定回数	法令基準 達成判定
敷地境界 6 カ所	臭気指数 18	10 未満～16	1 回	○

### ③地球温暖化対策に係る報告

#### ア. 今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計 (CO <sub>2</sub> 換算)
					kg-CO <sub>2</sub> /MJ	kg-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>	
燃料の使用	原料炭	—	kg	28.7	0.0902	—	—	
	一般炭	—	kg	24.2	0.0887	—	—	
	A 重油	—	ℓ	39.9	0.0708	—	—	
	B 重油	—	ℓ	41.8	0.0741	—	—	
	C 重油	—	ℓ	41.8	0.0741	—	—	
	LPG	—	kg	50.1	0.0598	—	—	
	都市ガス	3,561,478	Nm <sup>3</sup>	40.0	0.0513	7,312,902	1	7,312,902
その他 (廃棄物等)	—	kg	42.3	0.0762	—	—	—	
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	13,342,870	kWh		0.434	5,790,806	1	5,790,806
	その他事業者	25,069	kWh		0.456	11,567	1	11,567
熱供給事業者から供給された熱の利用	—	—	MJ	—	—	—	—	—
合計	—	16,929,417	—	—	—	13,115,275	—	13,115,275

#### イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率 (%)	
	今年度	2030 年度	基準年度 (2013 年度)	今年度	今年度	2030 年度
二酸化炭素	12,234,060	8,000,000	18,117,712	13,115,275	△27.6	△55.8
メタン	—	—	—	—	—	—
一酸化二窒素	—	—	—	—	—	—
HFC	—	—	—	—	—	—
PFC	—	—	—	—	—	—
六フッ化硫黄	—	—	—	—	—	—
合計	12,234,060	8,000,000	18,117,712	13,115,275	△27.6	△55.8

#### ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

分野	具体的対策	削減目標	実施状況
エネルギーの使用の合理化	「生産ライン安定化」取組みによる廃棄物の削減	2023 年度利計年間電力使用量＋利計年間ガス使用量から算出した CO <sub>2</sub> 排出予定量の 1%削減	達成
	従業員啓発による廃棄物の分別・リサイクル・リユース推進		
	水漏れ、エアー漏れ箇所調査と修理対応		
	省エネパトロールの実施		
	空調設備（熱交換器）の定期洗浄、点検、清掃の実施		
	無人時の事務所、会議室、不使用設備周辺の消灯推進		
	エネルギーの見える化取組、改善実施		
	高効率機器への更新（冷凍機、ポンプ、パッケージクーラー）を推進		
	コージェネレーションシステム適正稼働		
フロン機器（R22）の削減			

④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告  
2023年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節水	節水の呼びかけ 漏水等の早期発見	—	周知徹底	実施
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収	—	周知徹底	実施
		コピー用紙使用枚数削減継続監視	—	周知徹底	実施
		原材料ロス削減	ロス削減	原材料ロス率 目標達成	達成
3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	90%	85.4%
		プリンターカートリッジの再生利用	—	100%	100%
4	自動車対策	エコドライブ・アイドリングストップの推進	—	徹底	概ね実施
		社有車、送迎バス性能維持の為に定期的な点検整備	—	徹底	概ね実施
		廃棄物回収車両の適正整備要請	—	該当業者	概ね実施
5	特定フロン等使用量の削減	設備更新時、特定フロン非使用設備を導入	—	全量	老朽更新、新設時に特定フロン非使用設備を導入
		特定フロン使用機器の適正廃棄	—	フロン回収の徹底	実施率100%
6	従業員教育	環境保全に関する従業員教育	—	1回/年	実施
		環境に係る各種教育、講習等の受講、実施、展示会の見学	—	周知徹底	概ね実施
7	地域社会への参画	神戸こどもエコチャレンジ21イベントへの参加	—	1回/年	達成
8	環境管理システムの充実	ISO14001の運用管理	—	継続	継続中
		内部監査の実施	—	1回/年	実施
9	プラスチックに係る資源環境等の推進	廃棄されていた樹脂パレット及び樹脂シートパレット、樹脂コンテナをリサイクル	—	2023年1月～運用開始 100%リサイクル	100%



